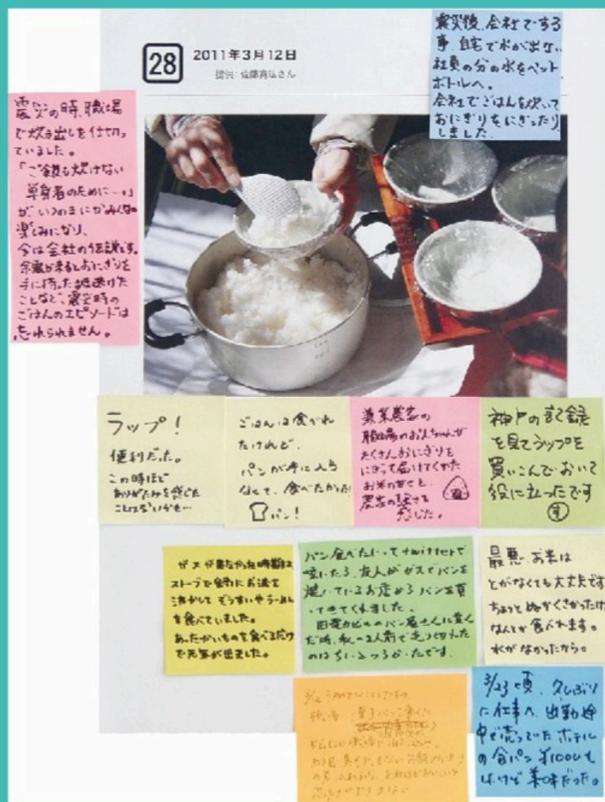


3.11 あの目を、 私たちの明日として想像する



本展では、せんだいメディアテーク「3がつ11にちをわすれないためにセンター」から提供された資料を通して、東日本大震災の多様な記録を紹介します。被災の状況や復興の歩み、震災との向き合い方は人それぞれです。震災を自分自身の時間として捉え直し、これからの暮らしや明日を考えます。

3/1日 - 3/15日 自由参加

時間 9:00 - 21:00 ※最終日は17:00まで

場所 2階 イベントスペース

協力 3がつ11にちをわすれないためにセンター (せんだいメディアテーク)

work 1

防災士と考える 災害時のトイレ



簡易トイレ 7 種類の展示や組み立て体験、凝固剤で水が固まる様子を体験できます。災害で水が使えなくなったとき、「トイレはどうするの?」という疑問を、防災士と一緒に、実際に見て・触って学ぶことができます。

講師 株式会社サンコー
防災士 岡本拓也さん

work 2

避難所って どんな感じですか?

段ボールベッドやパーティションを使った避難所を再現し、実際に中で過ごすことで災害時の生活をリアルに体験できます。避難所の工夫やプライバシー確保の重要性を知り、もしもの時に備えるきっかけに。家族や地域で防災を話し合う第一歩にぜひ体験してみてください。

講師 和歌山市 地域安全課



3/14 土

時間 11:00 - 17:00 自由参加

場所 2階 イベントスペース